

新型コロナウイルス感染症対応に係る現在の562人の保健所体制について

新規感染者数が急激に増加している状況に対応するため、434人体制から128人を増員し、新たに562人の保健所体制を構築。その内訳等については、以下のとおり。

(単位：人)

配属先の主な業務	基本体制 (*1)	I H E A T (*2)	応援職員【増減】 (*3)
検査準備, 外来受診調整 等	124	—	36【+8】
積極的疫学調査 等		5	214【+69】
健康観察, 入所・入院調整 等		—	112【+22】
広報, HER-SYS, 患者情報管理 等		—	71【+29】
合計	124	5	433【+128】

(*1) 医療衛生企画課職員45人及び人材派遣職員79人を加えた124人体制であり、「新規感染者数が週250人未満」に対応した基本体制

(*2) 新規感染者数が週300人を超えた場合、看護系大学との協力関係に基づき応援体制(京都市版IHEAT)を実施

(*3) 各配属先の応援職員の人数はあくまで目安であり、感染状況や配属先の業務の状況、更には重点化すべき取組等を勘案し柔軟に増減を実施

現在、医療機関から発生届が提出された後の「ファーストタッチ」を最優先に対応するため、主に積極的疫学調査を担う配属先へ重点的に応援職員を配置